

Amazon の特別安全条件

APAC/MENA/LATAM バージョン

発行日: 2022 年 7 月 9 日

発効日: 2022 年 7 月 9 日

バージョン: 1

目次

1. 目的.....	1
2. 適用範囲.....	2
3. WHS サプライヤーの管理.....	2
3.1 事前資格審査と選考.....	3
3.2 管理.....	4
3.3 作業後.....	13
4. 変更管理とドキュメント履歴.....	13

1. 目的

本文書の目的は、サプライヤーが実施する作業に対して必要となる特別安全条件 (SSC、Special Safety Conditions) に関する情報を説明することです¹。

各 SSC は、一般的な健康および安全条件に対する必要最小要件とリスク軽減要件に加えて、業界固有の慣習、リスクに特化したプランニング、コンピテンシー、およびツールと機器における必須要件を策定します。

SSC は、Amazon がサプライヤーに実施を委託した作業に適用される現地の労働安全衛生 (WHS) の法的要件 (適用される行動規範、ガイダンス資料、および水準を含む) の代替要件や法的解釈には該当しません。また、これらの条件は、従業員とその他の人 (サプライヤー、訪問者、ゲストを含む) の健康と安全を確保するというサプライヤーの責任を何らかの

¹本文書におけるサプライヤーとは、Amazon の作業を遂行するあらゆる請負業者を指します。

形で軽減するものでもありません。サプライヤーには、Amazon のために行われる作業に関連付けられた健康および安全上のリスクを管理することが義務付けられています。サプライヤーは、Amazon から委託された作業が行われる場所 (Amazon のサイトを含む) の SSC と現地 WHS の法的要件を評価し、これらの要件を満たす、またはそれらを超える WHS プログラムを導入し、維持する必要があります。さらに、サプライヤーは、Amazon から指示を受けた場合、特定の作業タイプに適用される可能性がある、Amazon が特定した追加要件に従う必要もあります。

Amazon は、本文書に記載される要件と推奨事項が下請業者にも適用されること、および下請業者の関与するすべての活動 (健康と安全を含む) に対する責任をサプライヤーが負うことを強調します。

2. 適用範囲

本文書は、調達プロセス中、またはその後に Amazon とサプライヤー間で合意されたマスターサービス契約 (MSA)、マスター購入契約 (MPA)、マスター作業指示書 (MWO)、購入契約 (PA)、または発注書 (PO) を通じて指定された、アジア太平洋 (オーストラリア、インド、日本²、シンガポール)、中東および北アフリカ (エジプト、サウジアラビア王国、アラブ首長国連邦)、ならびに中南米 (ブラジル、メキシコ) 内に所在する、Amazon が所有またはリースするサイトで作業を実施するすべてのサプライヤー (セクション 3.2.2 「業務管理」で規定される活動を実施する組織) とその従業員に適用されます。

本文書で説明する職場の健康と安全 (WHS) 要件は必須ですが、これに優先して、現地の WHS の法的要件に従う必要があります。

3. WHS サプライヤーの管理

サプライヤー向けの WHS 管理プロセスには以下の目的があります: Amazon から委託された活動を実行する際の、必要最小限の WHS 慣習・水準・手順の効果的な実施と各検査に関して、Amazon とサプライヤーとの関係が常に一定・透明であるための WHS ガイドラインを確立することこのプロセスは、事前資格審査、選考、管理、および作業後の各ステップで構成されます。

²日本に関する脚注: サードパーティの人材または派遣人材である従業員は、Amazon オペレーションに対して業務上またはその他のサポートを提供しているとしても、Amazon の従業員ではありません。本文書のいかなる内容も、Amazon とかかる人材の間における何らかの雇用関係を構築もしくは証明する、またはかかる人材の業務に関連する契約の諸条件を変更すると解釈できないものとします。Amazon の従業員は、固有の Blue Badge によって特定されます。日本で Blue Badge を保有しない従業員は Amazon 従業員とは見なされず、Amazon 従業員として扱われません。

3.1 事前資格審査と選考

サプライヤーは、Amazon の事前資格審査プロセスにすべての資格審査書類を提出することに同意し、事前資格審査プロセスに関連するすべての料金を支払うことに同意します。Amazon の事前資格審査プロセスの不履行は、サプライヤーが Amazon のサイトでのサービスの提供に不適切であると判断されることになります。サプライヤーは、以下の事前資格審査情報を提供し、これらを遵守することに同意します。

- 以下を含む (ただし、必ずしもこれらに限定されない)、Amazon の仕様に適合する必要がある保険証明書。
 - 一般賠償責任
 - 労働者災害補償
- 以下を含む (ただし、必ずしもこれらに限定されない)、WHS パフォーマンスデータ (データが Amazon 定義の許容範囲限度内であることを確認するために Amazon が評価します)。
 - 休業疾病発生率 (LTIFR)/休業災害度数率 (LTIR) 統計
 - 記録可能な年次総災害度数率 (TRIFR)/記録可能なインシデント率 (RIR) 統計
 - WHS 規制当局によって発行された執行措置 (改善および禁止通知を含む)
 - 死亡者数と重大インシデント数
- サプライヤーの業務分野における WHS の法的要件を満たす、またはそれらを超える必要がある WHS マニュアルまたは手順書。
- サプライヤーに対して発行された規制通知またはその他文書 (起訴、有罪判決、または WHS 規制当局によるその他の執行措置など)。
- 以下を含む (ただし、必ずしもこれらに限定されない)、Amazon が必須とするその他のビジネスデータおよび追加文書。
 - リスクアセスメント/安全作業方法ステートメント (正式にはタスク前計画と呼ばれるもの)
 - サプライヤー確認書
 - サプライヤー賠償責任免責確認書³
 - サプライヤー機器賠償責任免責書⁴
- 以下を含む (ただし、必ずしもこれらに限定されない)、Amazon のサイトに立ち入る各サプライヤーの従業員に関する情報。
 - オリエンテーションおよびサイト避難のためのトレーニング

³オーストラリアには適用されません

⁴オーストラリアには適用されません

- サプライヤーの従業員によって実施される特定の職務に関する資格およびライセンス
- 適用される WHS の法的要件に従い、サプライヤーの労働者が行う特定の作業に対する経験や専門的なトレーニングの証拠。

サプライヤーは、SSC 文書をレビューし、サプライヤーが選考対象となるための要件を満たしていること、または要件を超えていることを確認する必要があります。サプライヤーは、本文書、および現地 WHS の法的要件を遵守するためのサプライヤーの作業方法を示す安全作業計画を提供する必要があります。

3.2 管理

以下は、Amazon にサービスを提供する際に、サプライヤーとその下請け業者が従う必要のある一般的な安全条件です。

3.2.1 一般的な安全条件

- **安全行動規範:** サプライヤー、ならびにサプライヤーの従業員、ベンダー、および訪問者は、Amazon のサイト内にいる間、Amazon の安全行動規範 (調達時に Amazon がその写しを提供) に従うものとします。
- **条件と Amazon の安全行動規範への準拠。** Amazon は、これらの条件や Amazon の安全行動規範に準拠していない場合には極めて厳重に対処します。Amazon は、(i) Amazon サイトから非準拠の従業員、ベンダー、または訪問者を排除するようにサプライヤーに要求する、および (ii) 非準拠が繰り返される場合にはサービスを終了する権利があります。
- **下請け業者の管理:** サプライヤーがサービスの一部を第三者 (「認定下請け業者」) に委託できることを Amazon が書面で合意した場合、サプライヤーには以下の義務が生じます。・かかる認定下請け業者が、事前資格審査プラットフォームに登録された Amazon の事前資格審査要件を満たすこと・これらの条件を常に遵守すること・その従業員が Amazon サイトでサービスの実施を開始する前に、Amazon の安全オリエンテーショントレーニングを完了できるよう手配すること。
- **リスクアセスメント:** サプライヤーは、現地 WHS の法的要件に従って、Amazon のサイトで実施される各タスクまたは活動に関連付けられているすべての WHS リスクを特定し、評価する必要があります。これには以下の行動が含まれます。・少なくとも、サイトでの作業を開始する前に、危険源の特定とリスクの評価を行い、リスクを排除するための適切な方法を導入するための作業に関連する文書化されたリスクアセスメント/安全作業方法ステートメント (SWMS) を合理的に実行可能な範囲で実施すること・上記が適切でない場合は、作業を安全に実施するために、合理的に実行可能な範囲でリスクを最小限に抑えること作業は、SWMS/リスクアセスメント、および安全作業方法ステートメント (安全な作業システム) の使用を Amazon が認定した後でのみ開始できます。
- **サプライヤー機器:** サプライヤーは、サービスを実施する際に自前の工具と機器を供給して使用するものとし、以下の3点を確実に遂行する責任を負うものとします。・その機器が安全であること・メーカーの指示および適用される現地

の WHS の法的要件に従って操作されること・メーカーの指示に従って保守および修理されることまた、サプライヤーは、Amazon サイトで使用されるすべての工具および機器に関して、文書化された予防保全プログラムを策定し、要請に応じてかかるプログラムの詳細を Amazon に提供するものとします。サプライヤーによる自前の工具および機器の使用に Amazon が同意する場合は、サプライヤーがそれらの工具および機器の管理と制御を行い、工具および機器の使用、保守、および保管に関して、適用されるすべての WHS の法的要件を遵守する必要があります。サプライヤーが Amazon 提供の工具および/または機器を使用する場合、サプライヤーは、Amazon 機器を使用する前にそれらを検査して、Amazon の提供した 機器がサプライヤーの意図した目的に適しているかどうかを判断する必要があります。サプライヤーは、Amazon 提供の工具または機器の使用が健康および/または安全に対するリスクとなる可能性がある場合にそれらを使用してはならず、WHS リスクを適切な Amazon 従業員に報告する必要があります。サプライヤーは、Amazon が提供した工具または機器に対して、いかなる改修または修理を行わないものとします。Amazon の機器のいずれかに欠陥があることが判明した場合、サプライヤーはその欠陥について Amazon に通知し、Amazon がその機器をサプライヤーとその従業員による使用のために修理できるようにする義務を負うものとします。

- **法的要件への準拠:** サプライヤーは、適用される現地の WHS の法的要件に準拠する責任を負い、その業務に適用される WHS の法的要件 (輸送における安全、およびその他の作業活動固有の WHS の法的要件を含む) を特定するための体系的なアプローチを導入する必要があります。
- **適性について:** サプライヤーは、現地の WHS の法的要件および Amazon の特別安全条件の要件に従って、作業に起因する健康および安全に対するリスクからすべての人を保護するために必要な情報、トレーニング、指示、または監督を特定して提供する責任を負い、サプライヤーのすべての従業員、ベンダー、または訪問者が初めて Amazon のサイトに立ち入る前に、Amazon のサプライヤー安全オリエンテーショントレーニングを提供します。また、その見直しが少なくとも毎年行われるようにする必要があります。
- **監督:** サプライヤーは、適用される現地の WHS の法的要件に従って、その活動期間中、すべての作業が然るべき人物によって適切に監督されていることを確実にする必要があります。
- **コミュニケーション、コンサルティング、連携、および活動の調整:** サプライヤーは、Amazon 契約の履行に関し、現地の WHS の法的要件に従って、各従業員およびその他の WHS の義務を負う者 (下請け業者を含む) との効果的なコミュニケーションプロセスを策定する責任を負います。これには、Amazon および現地の WHS の法的要件に従ったコンサルティング、連携、および活動の調整が含まれます。
- **文書化された情報:** サプライヤーは、WHS 文書および記録に加えて、現地の WHS の法的要件 (契約の範囲に適用されるもの) への準拠に関する更新および情報が物理的に (または電子的媒体で) 利用可能であり、契約期間内における活動の実行時、および検査/監査目的のために管理されることを確実にするものとします。

- **個人用防護具:** サプライヤーは、サプライヤーのリスクアセスメントに基づいて、サプライヤーの従業員、ベンダー、または訪問者にすべての個人用防護具 (PPE) を提供する必要があります。サプライヤーは、指定された服装規定を含めた、Amazon サイト固有の PPE 要件に従うものとし、Amazon は、サプライヤーまたはその従業員に PPE を提供しません。
- **作業許可:** サプライヤーは、Amazon および適用される現地の WHS の法的要件、ならびに実施される作業の範囲に基づいて、関連する作業許可プロセスに従っていることを確実にするものとし、
- **拒否権:** 従業員は、作業の実施により、自身の健康または安全が、危険物への即時的または差し迫った暴露のため深刻なリスクにさらされるという合理的な懸念がある場合、いかなる種類の罰も受けることなく、作業の実施を中止または拒否することができます。
- **深刻かつ差し迫った WHS リスク:** Amazon は、人および施設の安全衛生に対する深刻かつ差し迫ったリスクが明らかになったときに、危険な状態が排除されるまで、または排除することが現実的でない場合は、合理的に実行可能な範囲で最小限に抑えられるまで、いつでも作業を中断する権利を留保します。サプライヤーの作為/不作為に起因する、深刻かつ差し迫ったリスクによって発生した停止の負担については、サプライヤーが全責任を負います。
- **緊急時に対する備えと対応:** サプライヤーは、該当する場合、適用される現地の WHS の法的要件と自社の活動範囲に固有の緊急事態シナリオ、かつ Amazon の緊急時プランに従って、緊急時の対応プランを提示し、導入する必要があります。
- **パフォーマンス評価:** サプライヤーは、Amazon のサイトで実施される作業に関連する WHS プログラムの有効性を監視するための計画的な検査プロセスを策定して導入し、必要に応じて計画されたスケジュールの写しを Amazon に提供する必要があります。
- **インシデントの報告と調査:** サプライヤーは、Amazon のサイトで発生するすべての WHS インシデントおよびイベントを、合理的に可能な限り速やかに報告する必要があります。報告は、シフトの終了前、または 8 時間以内、および業務上死亡の場合は 2 時間以内に行うことが理想的です。サプライヤーは、適用される現地の WHS の法的要件に従って、関連する政府当局への通知要件も遵守する必要があります。サプライヤーは、Amazon がインシデントに対して代替のレビューを要請する場合を除き、文書化されたインシデント調査を完了する必要があります。
- **是正措置:** サプライヤーは、WHS プロセスに影響を与える是正措置が特定、報告、記録、および効果的に解決されること、また再発を防止することを確実にする必要があります。
- **監視、指標、および継続的な改善:** サプライヤーは、WHS 事項を監視する(現地の WHS の法的要件に基づいて義務付けられている従業員の健康監視を含む) ための体系的なアプローチを、契約の範囲を参照し、適用される WHS の法的要件に従って、定義、導入、および維持する必要があります。

以下のサブセクションでは、サプライヤーの作業範囲に照らしたリスクへの暴露に基づいて、サプライヤーが従う必要がある業務管理 – リスク軽減要件について説明します。

3.2.2 業務管理 – リスク軽減要件

以下の業務管理は最小限のリスク軽減要件として提供されるもので、サプライヤーは最小限の要件としてこれらの要件を厳守し、従い、実施する必要があります。サプライヤーは、サプライヤー独自のリスクアセスメントに基づき、かつ適用される現地の WHS の法的要件および Amazon の特別安全条件に従って、サプライヤー独自の適切な業務管理を策定します。サプライヤーは、特定されたリスクを軽減するための効果的な措置の実施を確実にする必要があります。

サプライヤーは、適用される法的要件への準拠を維持するために、導入されている監督方法を見直し、必要に応じて修正する必要があります。以下の最小要件に加えて、特定の Amazon 標準作業手順 (SOP) がサプライヤーの作業に随時適用される場合があり、サプライヤーとその従業員はこの SOP を遵守する必要があります。

3.2.2.1 動力付き産業用トラックと高所作業車

- メーカーの操作、保守、および修理指示、ならびに高所作業車および高所作業車の安全コンポーネントに関連するすべての適用法、規則、または規制に従います。
- 高所作業車の操作前検査を毎日実施し、操作上の問題または WHS 問題が特定された場合は、高所作業車が使用されないことを確実にします。
- 高所作業車を操作する従業員が、作業台床に立ったまま作業を行う、ならびに手すりの上に登る、座る、および/または作業台で踏み板、はしご、もしくはその他の装置を使用する行為が禁止されていることを確認し、従業員がそれらを遵守しているかを監視します。
- 現地の WHS の法的要件に従って、上昇した状態の高所作業車、またはブーム (クレーンの竿部分) の高さから四方に物理的なバリアが設置されていることを確実にし、誰もこの制限区域にアクセスできないようにします。
 - 施設内で高所作業車を輸送している間、およびその操作中は、常に監視役を立てる必要があります。
 - 監視役は、緊急時に高所作業車を下降させる方法を理解し、その訓練を受けている必要があります。
 - 高所作業車の操作時における監視役の主な責任は、人が高所作業車の作業エリア内に立ち入るのを防ぐために、作業場所を監視することです。監視役は、高所作業車のオペレーターには見えない可能性がある危険源についてオペレーターに知らせる必要もあります。
- 使用されている機器の定格積載重量を超えること、またはメーカーの推奨人数を超える人が高所作業車に乗ることが一切ないようにします。

- サービスを開始する前に、溝、急斜面または穴、隆起および障害物、ゴミ、きちんと詰め込まれていない地面の隙間の充填材、頭上の障害物、電線、バスダクト、通電中の送電線、スプリンクラー配管、コンベア、ならびにその他すべての潜在的な危険源について、作業現場を点検してください。

3.2.2.2 Amazon Robotics (AR) – 該当する場合

- サプライヤーは、Amazon から認定された場合を除き、従業員が AR 保護境界を越えたり、AR フロアを歩いたりせず、警告または注意標示に従うことを確実にする必要があります。
- サプライヤーの従業員は、AR ドライブユニットと、別の AR ドライブユニット、ポッド、ワークステーション構造、コンベア、もしくは安全境界フェンスの間に体の一部を入れる、AR ドライブユニットもしくはポッドの上に立つ、乗る、寄りかかる、もしくは登る、または AR フロアに手を差し入れることが一切ないようにする必要があります。
- サプライヤーが作業を行ううえで AR フロアへのアクセスが必要な場合は、AR フロアに立ち入る前に、まず Amazon からの認可を得る必要があります。
- AR フロアにアクセスするサプライヤーの従業員は、アクセスする前に安全に関する説明を受け、訓練を受けた Amazon の従業員が常にそばを離れることなく付き添い、SRBRS ベストを着用して、緊急時には、付き添い人から離れずに最寄りの出口まで付き添い人に従う必要があります。

3.2.2.3 作業エリアの清掃、バリケード設置、境界および開口部の保護

- 現地の WHS の法的要件に従って、障害物や健康と安全に対するリスクがない、安全で整頓された作業エリアを維持します。危険源が存在する場合、サプライヤーはそのエリアを隔離し、許可のないアクセスを防ぐ必要があります。一時使用の電源コードまたはホースは、機器や歩行者のグリーンマイルを横断することがないようにし、使用しないときは適切に保管しておく必要があります。プレナムスペース (空気が循環するスペース) には資材を放置してはいけません。非常口、救急用具用の通路、ドア、階段、はしご、および電気パネルを塞がないでください。
- 板から突き出た鋭利物、ゆるんだ釘またはネジ、可燃性のゴミ、廃棄物などの作業活動から生じるゴミ、およびその他のゴミは、毎日 (Amazon から要請された、および/または安全性の維持に必要な場合は、より高い頻度で) 作業エリアから取り除きます。ゴミの焼却は禁止されています。屋外に保管されるすべての資材はカバーされている必要があります (オープントップ式の金属製大型ごみ容器を含む)、ゴミはすべて毎日 (または Amazon から要請された場合はより高い頻度で) 清掃する必要があります。サプライヤーは、Amazon サイトのすべての廃棄物を適切に処分する責任を負い、この処分は毎日行われる必要があります。サプライヤーが作業を完了したときは、すべての廃棄物をサイトから除去し、廃棄物を残さない必要があります。

3.2.2.4 閉鎖空間

- Amazon サイトで閉鎖空間への立ち入り作業を行う場合、サプライヤーは、必要に応じてサイトの RME チームから閉鎖空間への立ち入り許可を取得し、監視、立ち入り、および救助に関するすべての適用法、規則、および規制に従うものとします。サプライヤーは、サプライヤーの作業活動に関連するすべての閉鎖空間の立ち入りおよび救助用装備を維持し、サイトに専用の閉鎖空間救助計画をチームに導入する責任を負います。

3.2.2.5 電気系統における安全

- 現地の WHS の法的要件と電気系統における安全の法的要件に従い、電気に関連する健康および安全上のリスクを管理し、サイトの RME 管理チームを通じて取得する電気作業許可を取得します。
- サプライヤーは、ポータブルの電源プラグ付きコードで接続する機器、延長コード、電源タップ、および電気用取付部品に損傷または摩耗がないかを使用前に毎回検査し、損傷した機器は直ちに交換するものとします。延長コードについては、転倒する危険を生じるような方法で設置することが一切ないようにしてください。
- サプライヤーは、感電またはアークフラッシュの危険にさらされる通電中の電気システムでの作業時において、すべての適用法、規則、および規制を遵守するものとします。通電時に電気作業を実施する必要がある場合、その作業は適切な資格を有する者が実施し、サプライヤーはサイトの RME または施設管理チームを通じて取得できる電気作業許可を取得する必要があります。サプライヤーは、機器と工具が適切に接地されている、または二重に絶縁されていることを確実にする必要があります。サプライヤーは常に、電源もしくは電力線での作業、またはそれらの近くでの作業時に、非導電性サイドレールで作られたはしごを使用するものとします。
- 漏電遮断器と接地システムを取り付けます。緊急時に電源を遮断するため、パネルとサーキットブレーカーは、必ずアクセス可能な場所になくてはいけません。また、作業の開始前にそれらの場所を Amazon に伝達しておく必要があります。

3.2.2.6 落下危険管理 – 高所での作業

- 2 メートルを超える高さ、または現地の法規制に基づいて指定された高さで作業を行う場合、サプライヤーは個人用の落下防止リスク軽減システムを導入する必要があります。このようなシステムは、適用される WHS の法的要件に準拠している必要があります。落下防止装置は、ユーザーが使用前に毎回検査し、ユーザー以外の適格な人物が 1 年未満の間隔で検査するとともに、メーカーの指示に従って保守および保管する必要があります。
- 水平および垂直ライフラインは、登録された構造エンジニアの監督のもとで、資格を持つ人物のみが設計および設置する必要があります。

- 代替の高所作業装置を使用することもできますが、リスクを十分に管理するため、管理対策手段の組み合わせが必要になる場合があります。スペースの制約によって代替装置の使用が不可能である場合は、自己格納式ライフラインを備えた落下防止システムなどの追加の管理対策手段を使用する必要があります。はしごが必要な場合、これらは工業用グレード、適切なサイズ、および定格で、タスクのために承認された資材で製造され、非導電性 (作業が電気設備の上またはその付近で行われる場合)、かつ適切な様式 (延長またはステップ) である必要があります。間に合わせのはしごは禁止されています。使用前には、事前検査され、適切に取り扱われる必要があります。
- サプライヤーは、サイトおよびタスク固有の落下救助計画を策定しておく必要があります。これには、救助および避難活動に影響を及ぼす可能性のある環境およびサイト固有の要因、これらの要因を制御する方法、緊急時および/または救助における各チームメンバーの役割と責任、救助経路および緊急救助装置の特定、ならびに救助装置の検査と検証が含まれます。安全装置は、Amazon サイトで簡単にアクセスできる必要があります。
- 屋根の上で作業する場合、サプライヤーは実施される作業について完全なリスクアセスメントを行う必要があり、サイトの RME チームから、かかる作業を行うための関連 Amazon 作業許可を取得する必要があります。
- すべての工具と機器は、毎日屋根から下ろしておく必要があります。作業中、屋根に資材を残す場合は、気象条件によって吹き飛ばされたり外れたりしないように固定する必要があります。

3.2.2.7 危険エネルギー管理

- 該当する現地の WHS 法に基づく例外が適用され、サプライヤーが関連する要件に準拠する場合を除き、あらゆる用途に関する危険エネルギーまたは危険な動作 (電気、機械、空気圧、油圧動作など) は、危険エネルギー管理またはロックアウト/タグアウト (LOTO) を使用して管理する必要があります。
- サプライヤーは、認定された従業員のみが LOTO を実施することを確実にし、Amazon の要請に応じて、認定された従業員のトレーニング記録を Amazon に提供する必要があります。サプライヤーは、該当の従業員が、認定された人物の名前が入った個別の個人用ロックアウトロックとタグを所有していることを確実にするものとします。サプライヤーは、実施される作業に適切な従業員のみが従事することを確実にし、サイトの RME チームから、これらの作業を行うための、適切な許可を取得する必要があります。承認された複数の人物が LOTO を実施する場合、サプライヤーは、グループの LOTO キャプティブキー、ハサミ/ハスプ、またはすべてのメンバーが安全に LOTO を実施できるようにするための、これに類似したデバイスを使用することに同意します。サプライヤーは、承認されたすべての人物が、要請に応じて Amazon に提供する LOTO 監査を、少なくとも年に 1 回完了することを確実にするものとします。

3.2.2.8 有害物質/化学物質

- サプライヤーは、サービスを実施する際に、使用する予定の有害化学物質のリストをサイトの Amazon WHS チームに提供し、使用前に最新の安全データシートの写しを同チームに提供する必要があります。化学薬品容器は、国連が定めた「化学物質の分類及び表示に関する世界調和システム」、およびその他の適用法、規則、規制に基づいて義務付けられる通り、使用しないときは適切に表示札を貼り、密封し、保管する必要があります。可燃性および引火性化学物質を使用しないときは、それらすべてを承認された引火物貯蔵エリア/引火物用キャビネットに保管する必要があります。キャビネットには、適用法、規則、および規制によって義務付けられている適切な表示札が貼付されている必要があります。化学薬品が流出した場合は、サイトの Amazon WHS チームに直ちに報告する必要があります。サプライヤーは、化学物質と廃棄物を毎日、および作業の完了時に除去します。これに加えて、可燃性物質とゴミを毎日 (Amazon から要請された場合、または安全性の維持に必要な場合は、より高い頻度で) 除去します。
- サプライヤーは、国の規制に従って、発生したすべての廃棄物およびゴミを輸送および処分する責任を負います。

3.2.2.9 火気使用作業

- サプライヤーは、焼却、溶接、切断、ろう付け、はんだ付け、研削、または火気もしくは火花を発生させる工具の使用、あるいは発火源を発生させるその他の作業（「火気を使用する作業」）を伴う可能性がある作業を行うための Amazon の火気使用作業許可の写しをサイトの RME チームから入手する必要があります。火気使用作業は、サプライヤーの資格を持つ従業員のみが行う必要があります。火気使用作業が行われる予定の指定火気作業エリアは、(i) 可燃性および引火性物質がないことを確認するためにサプライヤーによる点検が行われる必要があり、サプライヤーからカーテンまたはバリア (火花またはアークフラッシュがエリア外に出ないようにするための溶接カーテン、またはそれに類似するもの) が提供され、サプライヤーが不当な立ち入りを防ぐために適切なバリケード (立ち入り禁止テープ、ネットフェンスなど) を設置するものとし、溶接機器を検査し、かつ、すべての溶接危険物質を承認された可燃物貯蔵場所に保管する必要があります。Amazon の作業現場でサプライヤーが保管できるのは、最小限の溶接危険物質のみです。

3.2.2.10 吊り上げとリギング (吊り下げ)

- リギング機器と付属品は、使用前に毎回サプライヤーが検査して、欠陥品にはタグを付け、直ちにサービスから除外される必要があります。すべてのホイストには安全ラッチフックが必須です。サプライヤーは、サイトの RME マネジメントチームを通じて、吊り上げ作業の許可を取得する必要があります。
- 移動式/一時使用の吊り上げ機器、もしくは複数の吊り上げ機器の同時使用、荷の傾き、オペレーターが荷を目視できない、もしくは援助が必要となる作業、吊り荷、フッキングポイントが定義されていない状態、もしくは重心位置が不明な状態での荷の吊り上げ、吊り上げ機器の操作専用で設計されていない機器の使用、もしくは吊り上げ機器/クレー

ンの積載量の 75% 以上を使用した吊り上げや操作、建物もしくは危険な設備の付近もしくはそれらの上での吊り上げ、特定の吊り上げ操作のために特別に設計された機器の使用、素材の束の吊り上げ、または屋外の気象条件にさらされる可能性のある荷の吊り上げといった活動を伴う作業には、現地の WHS の法的要件に適合する安全吊り上げ計画が必要です。サプライヤーの安全吊り上げ計画は、作業が行われる前にサプライヤーによって発行され、Amazon の WHS または RME チームと合意する必要があります。

- サプライヤーの安全吊り上げ計画には、少なくとも、リギングおよび吊り上げタスクの目的、タイミング、場所、および特性、従業員のトレーニング記録、必要な従業員数の詳細、積載重量、機器、タスクに関する容量チャートとリギングハードウェア、荷を適切にサポートし、所定位置まで操縦するために最適なリギング設定、吊り上げ装置の適切な固定点、ならびに (vi) 吊り上げエリアのバリケードの説明が含まれる必要があります。

3.2.2.11 ヤード作業

- サプライヤーは、詳細な安全計画を策定し、サプライヤーのタスク前チェックリスト作業を完了する必要があります。これらはどちらも、Amazon のヤード内で作業を行う前に Amazon の WHS チームによって承認される必要があります。サプライヤーは、実地作業エリアをヤード内の交通から分離するために、車両または交通バリケードなどの物理的なバリアを提供する必要があります。サプライヤーは、ヤード内での実地作業に従事する従業員のために、ヤード内の交通を観察する監視役システムを使用する必要があります。
- サプライヤーは、ヤード全体に対する通信機器を保有する必要があります。サプライヤーは、その従業員がヤード内の安全インシデントに遭遇した場合、これを必ず直ちに報告する必要があります。

3.2.2.12 建設活動

- Amazon サイトで建設活動を行うには、サプライヤーが、少なくとも特定の安全方針を定める安全調整計画を確立しておく必要があります。この計画は、プロジェクトデータ、安全組織、特定の活動リスト、緊急時管理、従業員の資格、機器、使用される計画とシステム、リスクアセスメント、必要な PPE のリスト、トレーニング、適用される現地の WHS の法的要件によって義務付けられる水準に沿って策定されたものです。サプライヤーと、サイト安全、RME、およびオペレーションチーム、またはプロジェクトマネージャーとの間で、サイト調整ミーティングが毎日行われる必要があります。

3.2.2.13 防火システム障害

- 計画された活動で、既存の防火設備に対する不慮の障害 (スプリンクラー近辺での火気使用作業、高粉塵活動など) の原因となる可能性があるものについては、サプライヤーがサイトの RME チームから火気使用作業許可を取得し、緊急

障害状況を防ぐための防火システム障害キットが使用されることを確実にする必要があります。火気使用作業活動が行われている場所では、追加で 3.2.2.9 に記載されている火気使用作業要件に従うものとし、サプライヤーには、サイトの POC に潜在的な不慮の障害のすべてを報告することが義務付けられます。

3.2.2.14 応急処置

- サプライヤーは、作業時間中、Amazon のサイトで作業を行うように委任された従業員が簡単にアクセスできる応急処置施設を提供し、維持するものとします。サプライヤーはさらに、応急処置施設に必要な物資を補充する責任を負うものとします。また、サプライヤーは、サプライヤーの負傷した従業員を援助するために、看護のための訓練を受けた従業員を独自に手配し、利用可能にするものとします。

3.3 作業後

作業の完了後、サプライヤーは作業エリアが安全で清潔な状態に戻されることを確実にするものとします。サプライヤーは、作業範囲の一部として生成された、改訂済み、または新しく承認された建築計画と図面、および当局提出承認文書を Amazon に提出する必要があります。サプライヤーは、適用される現地の WHS の法的要件に従って必要とされるすべての文書と記録を保持する必要があります。

4. 変更管理とドキュメント履歴

表 3: ドキュメント変更履歴

バージョン	説明	発行	発効
1	初版	2022 年 7 月 8 日	2022 年 7 月 8 日